

*I.G.M.Holdings* の現状

2022



I.G.M.Holdings

株式会社 I.G.M.Holdings

## 目次

■ はじめに	2
会社概要	
主な業務の内容	
社名の由来	
■ グループの概要	3
グループ事業系統図	
■ 代表的な経営指標等	4
■ 業績データ	
1. 連結貸借対照表	5
2. 連結損益計算書	6
3. 連結株主資本等変動計算書	7
4. 連結キャッシュ・フロー計算書	8
5. 連結注記表	10
■ コーポレートデータ	
1. 株式の状況	14
2. 会社の組織	
3. 役員に関する事項	15
4. 反社会的勢力への対応について	

## はじめに

平素より I.G.M.Holdings をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

このたび、事業概況、財務状況などをご説明するために、ディスクロージャー誌「I.G.M.Holdings の現状 2022」を作成いたしました。

当社をご理解いただく上で、本誌がお役に立てば幸いに存じます。

今後ともなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

※本誌は、「保険業法第 272 条の 40 第 1 項」及び「同法施行規則 211 条の 82」に基づき作成したディスクロージャー書類（業務及び財産の状況に関する説明書類）です。

## 会社概要

(2022 年 3 月末日現在)

株式会社 I.G.M.Holdings は、2017 年 4 月 3 日付けで株式会社あそしあ少額短期保険及び株式会社クレデンスが株式移転の方法により設立した共同持株会社です。

社 名 : 株式会社 I . G . M . H o l d i n g s  
本社所在地 : 東京都港区西新橋 3 -13- 7 VORT 虎ノ門 south 4 階  
資 本 金 : 1 億円  
設 立 : 2017 年 4 月 3 日  
会計監査人 : EY 新日本有限責任監査法人

## 主な業務の内容

- ① 子会社（少額短期保険業、債務保証業）の経営管理
- ② その他前号の業務に附帯する業務

## 社名の由来



I : I n s u r a n c e (保険)  
G : G u a r a n t e e (保証)  
M : M a n a g e m e n t (経営)

あそしあの少額短期保険業と、クレデンスの債務保証業。

両社の共通点である「お客様の『何かあったら』に備えて『安心』と『幸せ』を提供する企業」として、企業価値の向上を図ってまいります。

## グループの概要

当社グループは、当社及び連結子会社である株式会社あそしあ少額短期保険、株式会社クレデンス、株式会社あそしあ少額短期準備 NEO の計 4 社で構成されています。

当社は、少額短期保険持株会社として当社グループ全般の経営管理を担い、各子会社におきましては、「少額短期保険業」及び「債務保証業」を主な事業として取り組んでおります。

### ■ 株式会社あそしあ少額短期保険

- ・事業内容 少額短期保険業 関東財務局長（少額短期保険）第 11 号
- ・設立日 2007 年 2 月 23 日
- ・所在地 東京都千代田区九段北 3 - 2 - 5
- ・資本金 2 億円
- ・親会社が有する議決権比率 100%

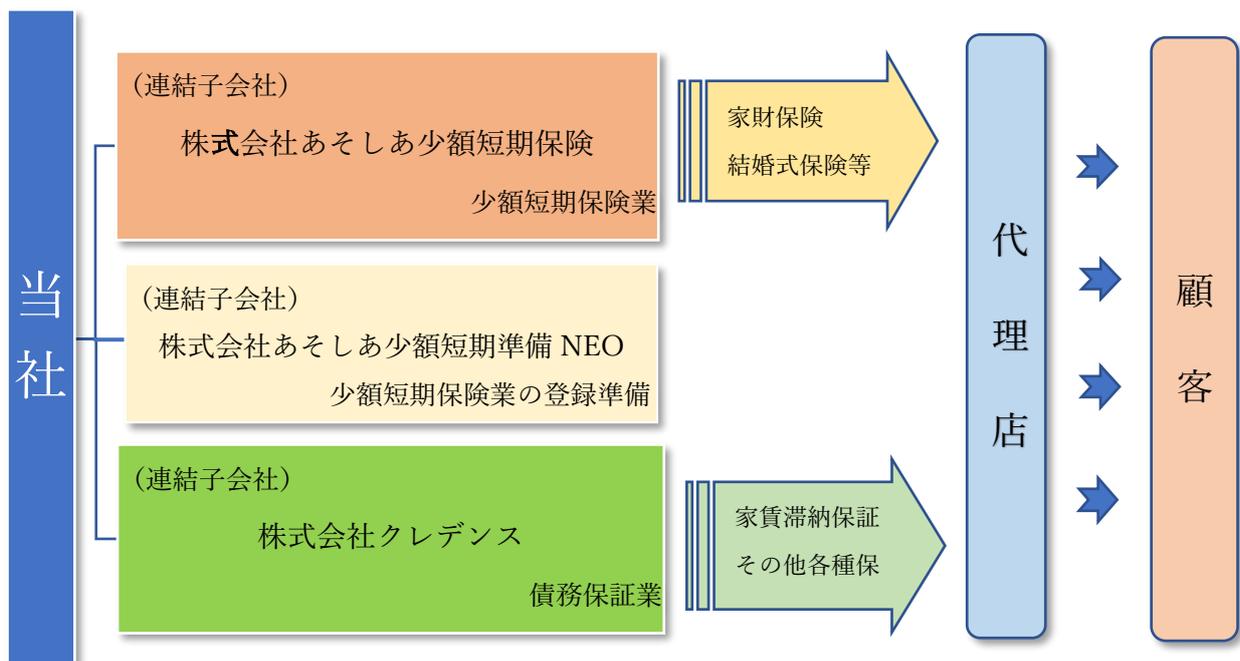
### ■ 株式会社クレデンス

- ・事業内容 債務保証業
- ・設立日 2005 年 3 月 22 日
- ・所在地 東京都千代田区飯田橋 1 - 3 - 2
- ・資本金 9 千万円
- ・親会社が有する議決権比率 100%

### ■ 株式会社あそしあ少額短期保険 NEO

- ・事業内容 少額短期保険業の登録準備
- ・設立日 2021 年 11 月 1 日
- ・所在地 東京都千代田区九段北 3 - 2 - 5
- ・資本金 1 億円
- ・親会社が有する議決権比率 100%

## グループ事業系統図



## 代表的な経営指標等

### 株式会社 I.G.M.Holdings 連結指標

(単位：千円)

科目	会計年度	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売上高		6,544,667	6,591,283	7,130,383
経常利益		265,130	71,339	103,904
親会社に帰属する当期純利益		182,130	43,440	102,699
包括利益		182,130	43,440	102,699
純資産額		985,968	1,020,503	1,121,030
総資産額		2,921,151	3,031,021	3,278,797

### 株式会社あそしあ少額短期保険 単体指標

(単位：千円)

科目	会計年度	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売上高		5,174,148	5,078,826	5,358,398
経常利益		196,692	229,053	159,627
当期純利益		139,125	170,743	128,635
純資産額		767,416	803,159	787,698
総資産額		1,539,025	1,532,029	1,525,030
保険業法上の純資産額 ※1		815,817	862,015	843,476
責任準備金残高		368,499	306,131	333,403
ソルベンシー・マージン比率 ※2		2,216.1%	1,850.5%	1,597.7%

※1 保険業法上の純資産額とは、保険業法施行規則第 211 条の 8 第 1 頁の規定に基づき、貸借対照表の純資産の部の金額に異常危険準備金及び価格変動準備金の額を加えたものです。

※2 保険業法施行規則第 211 条の 59 及び第 211 条の 60 並びに平成 18 年金融庁告示第 14 号の規定に基づいて算出しています。

### 株式会社クレデンス 単体指標

(単位：千円)

科目	会計年度	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売上高		1,370,518	1,512,456	1,772,594
経常利益		38,838	△77,704	32,640
当期純利益		23,992	△48,935	24,539
純資産額		170,692	97,767	122,306
総資産額		1,303,295	1,356,259	1,537,514

### 株式会社あそしあ少額短期準備NEO 単体指標

(単位：千円)

科目	会計年度	—	—	2022年3月期
売上高		—	—	—
経常利益		—	—	△5,028
当期純利益		—	—	△3,829
純資産額		—	—	96,170
総資産額		—	—	96,245

※2022年3月期は2021年11月から2022年3月までの5ヶ月間となります。

## 業績データ

## 1. 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	2021年3月期	2022年3月期	科 目	2021年3月期	2022年3月期
	金 額	金 額		金 額	金 額
(資産の部)			(負債の部)		
現金及び預金	1,476,836	1,606,067	買掛金	22,031	26,923
営業未収入金	283,209	306,676	短期借入金	50,000	100,000
保証債務立替金	603,769	644,834	未払金	83,751	86,408
前払費用	273,644	296,766	未払法人税等	73,317	10,897
代理店貸	48,700	48,425	未払消費税等	3,409	4,519
再保険貸	47,830	10,525	前受収益	847,724	933,952
その他の資産	56,803	65,833	代理店借	148,986	155,459
貸倒引当金	△369,577	△419,139	再保険借	29,746	20,806
有形固定資産	20,955	17,795	支払備金	21,070	16,408
建物附属設備	18,526	18,526	責任準備金	306,131	333,403
工具器具備品	10,821	4,503	債務保証損失引当金	15,904	24,686
その他の有形固定資産	14,196	14,050	賞与引当金	54,776	50,065
減価償却累計額	△22,588	△19,283	その他の負債	267,953	293,270
無形固定資産	86,082	134,928	退職給付に係る負債	39,767	47,591
ソフトウェア	81,215	132,117	役員退職慰労引当金	45,945	53,373
その他の無形固定資産	4,867	2,810	負債の部合計	2,010,518	2,157,766
投資その他の資産	502,765	566,083	(純資産の部)		
長期未収入金	111,961	116,651	資本金	100,000	100,000
貸倒引当金	△111,961	△116,651	資本剰余金	442,497	442,497
繰延税金資産	387,456	436,578	利益剰余金	478,005	578,532
その他の投資資産	115,309	129,504	株主資本合計	1,020,503	1,121,030
			その他有価証券評価差額金	-	-
			純資産の部合計	1,020,503	1,121,030
資産の部合計	3,031,021	3,278,797	負債及び純資産の部合計	3,031,021	3,278,797

## 業績データ 5

## 2. 連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	2021年3月期	2022年3月期
	金 額	金 額
<b>売上高</b>	<b>6,591,283</b>	<b>7,130,383</b>
保険料等収入		
保険料収入	2,585,936	2,830,370
再保険収入	2,413,181	2,512,389
その他保険等収入	79,709	15,638
保証料等収入		
家賃保証収益	1,391,714	1,625,637
その他収益	120,742	146,347
<b>売上原価</b>	<b>5,013,229</b>	<b>5,430,111</b>
保険金等支払金		
支払保険金	683,806	700,801
解約返戻金	86,192	85,619
再保険料	2,327,342	2,547,344
代理店手数料	914,805	975,832
その他保険金等支払金	80,127	108,053
保証売上原価		
代理店手数料	320,474	372,001
販売委託手数料	44,487	63,346
その他手数料等	555,992	577,111
<b>売上総利益</b>	<b>1,578,054</b>	<b>1,700,271</b>
販売費及び一般管理費		
人件費	816,369	871,103
その他販売管理費	704,725	743,057
<b>営業利益</b>	<b>56,959</b>	<b>86,110</b>
営業外収益	16,278	20,550
営業外費用	1,898	2,756
<b>経常利益</b>	<b>71,339</b>	<b>103,904</b>
特別利益	—	—
特別損失	1,875	0
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>69,463</b>	<b>103,904</b>
法人税、住民税及び事業税	120,461	50,326
法人税等調整額	△94,437	△49,121
<b>当期純利益</b>	<b>43,440</b>	<b>102,699</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	43,440	102,699

## 3. 連結株主資本等変動計算書

【2021年3月期】2020年4月1日～2021年3月31日

(単位：千円)

	株主資本								純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				株主資本 合計	
		その他資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	特別償却準備金 の積立て	繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
当期期首残	100,000	442,497	442,497	2,032	6,338	435,099	443,470	985,968	985,968
当期変動額									
剰余金の配当	-	-	-	233	-	△9,138	△8,905	△8,905	△8,905
親会社株主に 帰属する 当期純利益	-	-	-	-	△2,193	45,633	43,440	43,440	43,440
当期変動額 合計	-	-	-	233	△2,193	36,495	34,534	34,534	34,534
当期末残高	100,000	442,497	442,497	2,266	4,144	471,594	478,005	1,020,503	1,020,503

【2022年3月期】2021年4月1日～2022年3月31日

(単位：千円)

	株主資本								純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				株主資本 合計	
		その他資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	特別償却準備金 の積立て	繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
当期期首残	100,000	442,497	442,497	2,266	4,144	471,594	478,005	1,020,503	1,020,503
当期変動額									
剰余金の配当	-	-	-	217	-	△2,389	△2,172	△2,172	△2,172
親会社株主に 帰属する 当期純利益	-	-	-	-	△1,558	104,257	102,699	102,699	102,699
当期変動額 合計	-	-	-	217	△1,558	101,868	100,527	100,527	100,527
当期末残高	100,000	442,497	442,497	2,483	2,586	573,463	578,532	1,121,030	1,121,030

## 4. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	2021年3月期	2022年3月期
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	69,463	103,904
減価償却費	30,196	30,899
減損損失	1,875	—
資産除去費	1,646	894
固定資産除去損	—	0
支払備金の増減額 (△は減少)	3,804	△4,662
責任準備金等の増減額 (△は減少)	△62,368	27,272
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	163,902	54,251
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,735	8,781
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,609	△4,711
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10,917	7,824
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,999	7,427
受取利息及び受取配当金	△16	△14
支払利息	849	852
営業未収入金の増減額 (△は増加)	21,106	△23,466
前払費用の増減額 (△は増加)	△37,395	△23,088
代理店貸の増減額 (△は増加)	10,524	274
再保険貸の増減額 (△は増加)	△32,075	37,305
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,612	309
保証債務立替金の増減額 (△は増加)	△81,315	△41,064
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,180	4,892
代理店借の増減額 (△は減少)	△2,166	6,472
再保険借の増減額 (△は減少)	1,467	△8,940
前受収益の増減額 (△は減少)	118,401	86,228
その他	16,397	38,066
小 計	251,658	309,708
利息及び配当金の受取額	16	14
利息の支払額	△849	△885
法人税等の支払額	△144,927	△131,892
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,897	176,945

(単位：千円)

科 目	2021年3月期	2022年3月期
	金 額	金 額
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の預入による支出	△6,001	△6,001
有形固定資産の取得による支出	△974	△1,910
無形固定資産の取得による支出	△44,581	△74,675
差入保証金の差入による支出	△161	△1,958
短期貸付金の回収による収入	151	-
その他投資の増減額	△7,640	△11,544
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,208	△96,089
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入の増減額(△は減少)	△50,000	50,000
リース債務の返済による支出	△3,367	△5,455
配当金に支払による支出	△8,905	△2,172
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,272	42,372
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,583	123,229
現金及び現金同等物の期首残高	1,464,916	1,449,332
現金及び現金同等物の期末残高	1,449,332	1,572,562

## 5. 連結注記表

### ■ 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

#### 1. 連結の範囲に関する事項

##### (1) 連結子会社の数及び名称

連結子会社の数	3社
連結子会社の名称	株式会社あそしあ少額短期保険 株式会社クレデンス 株式会社あそしあ少額短期準備 NEO

##### (2) 非連結子会社

該当ありません。

#### 2. 持分法適用に関する事項

該当ありません。

#### 3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

#### 4. 会計方針に関する事項

##### (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

###### ① たな卸資産

・貯蔵品

主として個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

##### (2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

###### ① 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法を採用しております。ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。  
なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物附属設備	15年
工具器具備品	3～10年

###### ② 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいて償却をしております。

###### ③ リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当連結会計年度に見合う分を計上しております。

③ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく連結会計年度末要支給額を計上しております。

④ 債務保証損失引当金

賃料保証に係る損失に備えるため、当連結会計年度における将来の損失発生見込額を計上しております

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期的な投資からなっております。

(6) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(7) 会計方針の変更に関する事項

① 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、顧客への財またはサービスの提供に他の当事者が関与している場合において、顧客との約束が当該財またはサービスを当該他の当事者によって提供されるように企業が手配する履行義務であると判断され、企業が代理人に該当するときには、他の当事者により提供されるように手配することと交換に企業が権利を得ると見込む報酬または手数料の金額(あるいは当事者が提供する財またはサービスと交換に受け取る額から当該他の当事者に支払う額を控除した純額)を収益として認識することといたしました。この結果、当連結会計年度の売上高は8,628千円減少し、売上原価は8,628千円減少しております。

② 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、時価をもって連結貸借対照表価額とする金融商品を保有しておらず、連結財務諸表に与える影響はありません。

(8) 会計上の見積りに関する事項

当連結会計年度の連結財務諸表を作成するにあたって行った会計上の見積りのうち、当該会計上の見積りが当連結会計年度の翌連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次の通りです。

① 当連結会計年度の連結財務諸表に計上した金額

繰延税金資産 436,578 千円

② 会計上の見積りの内容に関する理解に資する情報

繰延税金資産の認識は、将来の事業計画に基づく課税所得の発生時期及び金額によって見積っております。当該見積りは、将来の不確実な経済条件の変動などによって影響を受ける可能性があり、実際に発生した課税所得の時期及び金額が見積りと異なった場合、翌連結会計年度の連結財務諸表において、繰延税金資産の金額に重要な影響を与える可能性があります。

■ 連結貸借対照表関係

1. 1株当たりの純資産額

1株当たりの純資産額は、1,548円38銭です。算定上の基礎である純資産の部の合計及び普通株式に係る期末の純資産額は1,121,030千円、期末普通株式数は724,000株です。

■ 連結損益計算書関係

1. 1株当たりの当期純利益額

1株当たりの当期純利益の額は、141円85銭です。算定上の基礎である親会社株主に帰属する当期純利益の額は102,699千円、期末普通株式数は724,000株です。

■ 連結株主資本等変動計算書関係

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当連結会計年度 期首株式数	当連結会計年度 増加株式数	当連結会計年度 減少株式数	当連結会計年度 期末株式数
普通株式	724,000 株	—	—	724,000 株

2. 剰余金の配当に関する事項

決議	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
2021年6月25日 定時株主総会	2,172,000 円	3.00 円	2021年3月31日	2021年6月28日

3. 当連結会計年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項

2022年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しました。

- ① 配当金の総額・・・・・・・・・・ 4,923,200 円
- ② 1株当たりの配当額・・・・・・・・ 6 円 80 銭
- ③ 基準日・・・・・・・・・・ 2022年3月31日
- ④ 効力発生日・・・・・・・・・・ 2022年6月29日

## ■ 金融商品の状況に関する事項及び金融商品の時価等に関する事項

### 1. 金融商品の状況に関する事項

#### (1) 金融商品に対する取組方針

当社グループは、主に少額短期保険業及び家賃保証事業を営んでおり、これらの事業を行うため、市場環境、契約状況等を勘案して、必要な資金を調達（主に銀行借入）しております。また、一時的な余剰資金の運用については、安全性、確実性、流動性の高い金融資産で運用し、デリバティブを組み込んだ複合金融商品など、リスクの高い取引は行わない方針であります。

#### (2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である営業未収入金、保証債務立替金、代理店貸、再保険貸は、顧客の信用リスクに晒されております。営業債務である買掛金、未払金、代理店借、再保険借、短期借入金は、ほとんど1年以内の支払期日であります。ファイナンス・リース取引に係るリース債務は、償還日は決算日後5年以内であります。

#### (3) 金融商品に係るリスク管理体制

##### ① 信用リスク(取引先の契約不履行等に係るリスク)の管理

連結子会社は、債権管理規程に従い営業債権について営業管理部門が主要な取引先の状況を定期的にモニタリングし、取引相手ごとに期日及び残高を管理するとともに、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。当期の連結決算日現在における最大信用リスク額は、信用リスクに晒される金融資産の貸借対照表価額により表わされています。

##### ② 資金調達に係る流動性リスク(支払期日に支払いを実行できなくなるリスク)の管理

連結子会社は、各部署からの報告に基づき財務部門が適時に資金繰計画を作成・更新することなどにより、流動性リスクを管理しております。

### 2. 金融商品の時価等に関する事項

	連結貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
(1) 現金及び預金	1,606,067	1,606,067	—
(2) 営業未収入金	306,676	306,676	—
(3) 保証債務立替金	644,834		
貸倒引当金(※1)	△419,139		
(4) 代理店貸	225,694	225,694	—
(5) 再保険貸	48,425	48,425	—
	10,525	10,525	—
資産計	2,197,389	2,197,389	—
(1) 買掛金	26,923	26,923	—
(2) 短期借入金	100,000	100,000	—
(3) 未払金	86,408	86,408	—
(4) 代理店借	155,459	155,459	—
(5) 再保険借	20,806	20,806	—
負債計	389,597	389,597	—

(※1) 保証債務立替金に対応する貸倒引当金を控除しております。

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

資 産：(1)現金及び預金、(2)営業未収入金、(3)保証債務立替金、(4)代理店貸、(5)再保険貸

これらは短期で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

負 債：(1)買掛金、(2)短期借入金、(3)未払金、(4)代理店借、(5)再保険借

これらは短期で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

■ 重要な後発事象に関する注記

該当ありません。

コーポレートデータ

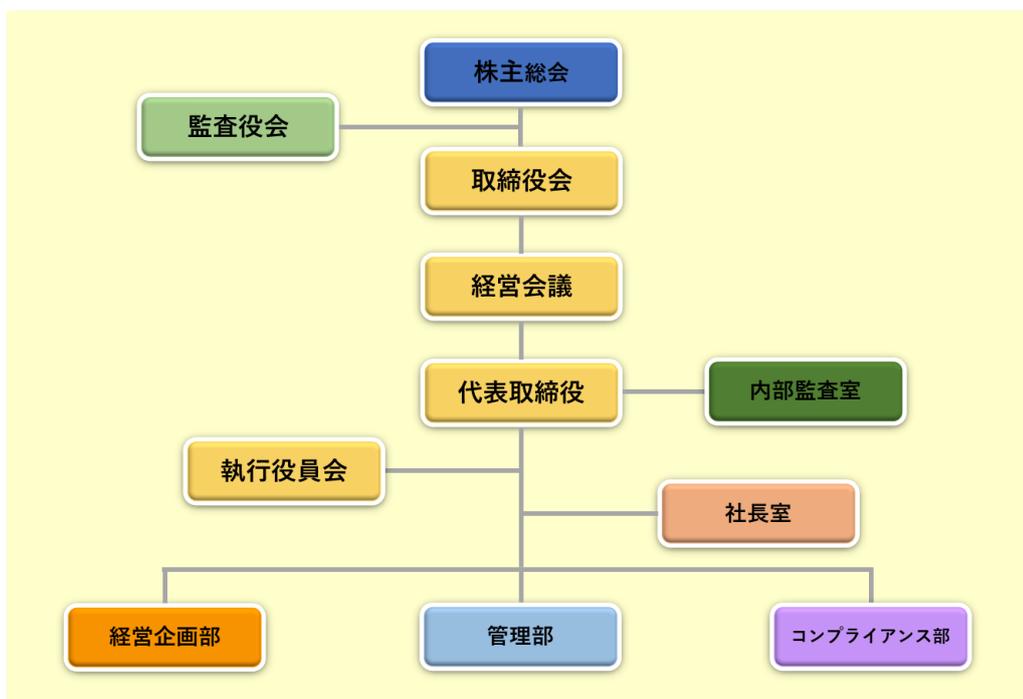
1. 株式の状況

- 発行可能株式総数 2,896,000 株
- 発行済株式の総数 724,000 株
- 株主数 91 名 (2022 年 3 月 31 日現在)
- 大株主

株主の氏名又は名称	当社への出資状況	
	持株数等	持株比率
山中 幸子	271,600 株	37.5%
株式会社 Y アセツ	112,600 株	15.5%
本間 ゆかり	70,000 株	9.6%
株式会社エリッツホールディングス	18,300 株	2.5%
コープサービス株式会社	14,500 株	2.0%
小泉 直行	13,300 株	1.8%
株式会社シティホーム	11,700 株	1.6%
鈴木 正巳	10,000 株	1.3%
熊澤 重行	8,000 株	1.1%
喜多村 和憲	8,000 株	1.1%

(注) 大株主上位 10 名を記載しております。

2. 会社の組織



### 3. 役員に関する事項

(2022年7月1日現在)

氏名	地位及び担当	重要な兼職
小泉 直行	代表取締役社長	
時田 典彦	取締役執行役員 管理部長	
本間 貫禎	取締役執行役員	(株)あそしあ少額短期保険 代表取締役社長
喜多村 和憲	取締役	(株)クレデンス 代表取締役社長
小川 博光	取締役	
阪田 雅裕	取締役	弁護士 アンダーソン・毛利・友常法律事務所 顧問
高山 丈二	監査役	(株)ベルテクスコーポレーション 社外取締役
佐藤 靖	監査役	(株)あそしあ少額短期保険 監査役 青山学院大学経営学部 教授
紺野 良一	監査役	(株)クレデンス 監査役、公認会計士・税理士 税理士法人エキスパートリンク 代表社員

- (注) 1. 高梨智弘氏は、死亡により2021年8月16日付けで退任いたしました。後任として2021年10月26日開催の臨時株主総会において、紺野良一氏が監査役に新たに選任され、就任いたしました。
2. 取締役 小川 博光及び阪田 雅裕は、社外取締役であります。
3. 監査役 高山 丈二及び紺野 良一は、社外監査役であります。
4. 取締役の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時株主総会終結の時までであります。

### 4. 反社会的勢力への対応について

当社は、社会の秩序や企業の健全な事業活動に脅威を与える反社会的勢力との取引を含めた一切の関係を遮断するため、次の「基本方針」を定め、これを遵守いたします。

#### 反社会的勢力に対する基本方針

- 1. 組織としての対応  
反社会的勢力に対し組織全体として対応し、不当要求に対する役員及び社員の安全を確保します。
- 2. 外部専門機関との連携  
反社会的勢力による不当な要求に備え、平素から警察、暴力追放運動推進センター、弁護士等の外部専門機関と緊密な連携関係を構築します。
- 3. 取引を含めた一切の関係を遮断  
反社会的勢力とは、取引関係を含めた一切の関係を遮断します。また、反社会的勢力による不当要求は、これを拒絶します。
- 4. 不当要求時における民事及び刑事の法的対応  
反社会的勢力による不当要求に対しては、必要に応じて民事と刑事の両面から法的対応を行います。
- 5. 不適切な取引及び資金提供の禁止  
反社会的勢力による不当要求がいかなる理由であっても、事案を隠ぺいするための裏取引や資金提供は絶対に行いません。

I . G . M . H o l d i n g s の現状 2 0 2 2

2 0 2 2 年度版 / 2021 年度決算

(2022 年 8 月発行)



株式会社 I . G . M . H o l d i n g s

東京都港区西新橋三丁目 1 3 番 7 号

TEL : 03-5777-0040

URL : <https://igmh.jp/>